

「木曾のポーは100歳！」 木曾森林鉄道ボールドウィン号100周年記念イベント事業

取組に至る背景・事業の目的

…大正5年に木曾森林鉄道・小川線が運行を始めて100年。現在、赤沢森林鉄道を保存運行し、蒸気機関車の現役の姿を覚えているスタッフから「お祝いのイベントをしよう」との発案が。この提案に有志が続々と集結。テレビ局や観光事業者を巻き込んで、晴天率の高い9月28日をイベント開催日に決定。

皆の志は、次の100年に向けてボールドウィン蒸気機関車を大切に送り出すこと。節目のイベントに向けて関係者の活動が始まった。

事業内容

- 木曾森林鉄道に関する、一般家庭や企業の画像・映像を募集、デジタル化し資料保存を実施。
- 赤沢自然休養林会場では、静態保存の蒸気機関車を主人公に祝賀会を開催。森林鉄道の保存車両を用いた運転体験や、蒸気機関車のデモ走行を開催。100名以上が参加。
- 上松駅前会場では、駅前ロータリーでボールドウィン号のライブスチーム走行会、提供のあった写真や映像の展示会、駅前の遺構を辿る記念ウォーキング大会を開催。200名以上が参加。
- ほか、期間中に記念グッズや木製玩具を開発販売。



【皆で蒸気機関車の生誕100年をお祝い】

事業効果

- 町内外の住民から数多くの貴重な資料を拝借させていただき、上松町の昔の行事も確認できた。
- 静態保存しているボールドウィン蒸気機関車の生い立ちや歴史が明らかになった。
- 上松駅前の森林鉄道ライブスチームデモ走行、モーターカー実車の運転体験は盛況。観光商品やイベントとして新企画を開拓できた。
- 木曾森林鉄道が大人だけの思い出にならないよう、デジタルアニメーションやテーマソング作りにも取り組んだ。アニメCMも完成、ふるさとCM大賞に入選するなど幅広い年齢層に親しんでもらえた。
- 翌年、駅前の遺構を辿るウォーキングコースが「新日本歩く道紀行」の文化の道に認定された。
- 集材所の跡地に誘致された企業が、熱心に森林鉄道の車両保存活動にあたっている。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 実行委員会を開催しつつ、各関係団体の意思疎通と担当イベントの割り当てなどに腐心した。
- イベント前日に御嶽山の噴火災害が発生し、報道関係などへの周知や話題性が確保できなかった。
- 鉄道ファンを中心に、改めて木曾森林鉄道への愛着を新たにさせていただけた。今後は観光資源や文化的遺産として後世への保存継承に努めていきたい。

【選定のポイント】

森林鉄道に関する資料を収集し、映像やアニメーションの記録媒体に加え、遺構ウォーキングなどとして観光資源としての活用も図られているので、今後活用を進めることで、観光地として期待できる。

団体名	上松町観光協会	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0264-52-1133 上松町観光情報センター	事業費	1,528,230円
ホームページ	http://www.town.agematsu.nagano.jp/kankou/hinoki@avis.ne.jp	支援金額	1,146,000円

